

会議名	平成 29 年度第 1 回板橋区地域自立支援協議会		
開催日時	平成 29 年 7 月 7 日（金） 10：00 ～ 12：00		
開催場所	板橋区立グリーンホール 1 階ホール		
参加者	<p>【委員等 12 名】是枝会長、石川副会長、會田委員、小島委員、米山委員代理佐々木氏、片山委員、内田委員、中山委員、清水委員、鈴木委員、齊藤委員、峰松委員</p> <p>【オブザーバー 3 名】水田予防対策課長、坂井おとしより保健福祉センター所長、大澤志村福祉事務所長</p> <p>【事務局 7 名】小池福祉部長、星野障がい者福祉課長、保泉管理係長、櫻井地域生活推進係長、松田、荒井、砂川</p>		
会議の公開	公開（傍聴）できる	傍聴者数	3 人
次第	<p>1 委員委嘱状伝達式</p> <p>(1) 委員委嘱・副区長挨拶</p> <p>(2) 委員の紹介</p> <p>(3) 会長選出・副会長指名</p> <p>(4) 区関係管理職・事務局の紹介</p> <p>2 平成 29 年度第 1 回板橋区地域自立支援協議会</p> <p>(1) 開会・会長挨拶</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>① 第 6 期運営方針・部会の設置について</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>① 平成 28 年度板橋区地域自立支援協議会のまとめ</p> <p>② 板橋区障がい福祉計画について</p> <p>③ 計画相談実績（平成 29 年 3 月末現在）について</p> <p>④ 平成 28 年度第 2 回障がい当事者部会（差別解消法講演会）報告</p> <p>⑤ 平成 29 年度第 1 回高次脳機能障がい部会報告</p> <p>(4) その他</p> <p>(5) 閉会・副会長挨拶</p>		
配布資料	<p>資料1 板橋区地域自立支援協議会 第 6 期委員名簿</p> <p>資料2 第 6 期板橋区地域自立支援協議会運営方針</p> <p>資料3 平成 28 年度板橋区地域自立支援協議会のまとめ</p> <p>資料4 板橋区障がい福祉計画について</p> <p>資料5 計画相談実績（平成 29 年 3 月末現在）</p> <p>資料6 平成 28 年度第 2 回障がい当事者部会報告書</p> <p>資料7 平成 29 年度第 1 回高次脳機能障がい部会報告書</p> <p>参考資料 板橋区地域自立支援協議会設置要綱</p>		

1 委員委嘱状伝達式

(1) 委員委嘱・副区長挨拶

橋本副区長より、委嘱状の伝達と挨拶が行われた。

(2) 委員の紹介

事務局より、資料1に沿って、委員の紹介を行った。

(3) 会長選出・副会長指名

是枝委員が会長に選出・石川委員が副会長に指名された。

(4) 区関係管理職・事務局の紹介

2 平成 29 年度第 1 回板橋区地域自立支援協議会

(1) 開会・会長挨拶

是枝会長より、開会の挨拶が行われた。

協議事項

(2) 第 6 期運営方針・部会の設置について

- ① 事務局より、資料 2 に沿って、第 6 期運営方針・部会の設置について提案し、事務局案のとおり決定となった。

報告事項

(3) 平成 28 年度板橋区地域自立支援協議会のまとめ

- ① 事務局より、資料 3 に沿って、平成 28 年度地域自立支援協議会のまとめを報告した。

板橋区障がい福祉計画について

- ② 事務局より、資料 4 に沿って、板橋区障がい福祉計画について報告した。

計画相談実績（平成 29 年 3 月末現在）について

- ③ 事務局より、資料 5 に沿って、計画相談実績（平成 29 年 3 月末現在）について報告した。

平成 28 年度第 2 回障がい当事者部会（差別解消法講演会）報告

- ④ 鈴木部会長より、資料 6 に沿って、平成 28 年度第 2 回障がい当事者部会（差別解消法講演会）について報告が行われた。

平成 29 年度第 1 回高次脳機能障がい部会報告

- ⑤ 會田部会長より、資料 7 に沿って、平成 29 年度第 1 回高次脳機能障がい部会の報告が行われた。

<主な質疑・意見>

・資料 4-5 項番 3「地域共生社会」の実現に向けた取り組みについて、障がい福祉計画と介護保険事業計画の包括的な検討は、実際にはどのような形での検討になるのか。
→それぞれの会議体に所管課長等が参加している。

また、障がいの分野では、一定の年齢以上になると障害福祉サービスから介護保険サービスに移行する方もいるため、当協議会の中でも介護保険分野に関して要望があれば、伝えていく。

議事内容

- ・障がい福祉計画の当事者の意見の反映について、スケジュールや、アンケート部数、アンケートの対象者、内容等について
- アンケートについては、夏頃に集中的に行う予定。また、対象者は前回の計画策定時には、障がい当事者等 5,000 件だったところを、新たに障がいの有無にかかわらず抽出した一般の方 1,000 件を追加し計 6,000 件で行う。
- アンケート内容については、最終調整の段階である。
- アンケートだけでは見えにくい課題について、どのように抽出するかについて現在検討中であり、当協議会や区内各事業所等にも協力を依頼していく。

(4) その他

各委員より、それぞれの立場から現状の報告・意見等が行われた。

<主な質疑・意見>

- ・地域生活支援拠点等の整備について
- 現状、基幹相談支援センターを中心として面的整備をする予定。各部会において協議いただいて、障がい者福祉課が中心となり、情報提供・意見の集約等を行って整備していく。
- ・計画相談について、進捗率は上がっているが、1人の相談員の担当する件数が多いなど、現場の相談員の負担が大きい。今後は、達成率の向上以外に、質の確保についても検討・協議していきたい。
 - ・発達障がい児への家族支援について、保護者の方の障がい受容がなかなか進まないケースがある。子ども発達支援センター等も予約が数か月先になってしまうなど、今現在困っている、という保護者の方になかなか対応できない部分については、課題として検討していく必要がある。

(5) 閉会・副会長挨拶

石川副会長より、閉会の挨拶が行われた。